

小さな町の素敵な音楽祭～2003～

第29回木曾音楽祭

8/21・22・23・24



Violin	漆原啓子 久保陽子	加藤知子 小林美恵	川田知子
Viola	市坪俊彦	篠崎友美	菅沼準二
Violoncello	堀了介	山崎伸子	山本裕康
Contrabass	星秀樹		
Flute	佐久間由美子		
Oboe	古部賢一	森枝繭子	
Clarinet	磯部周平	山本正治	
Fagott	岡本正之	吉田将	
Horn	松崎裕	山本真	
Piano	寺嶋陸也	野島稔	若林顕
Director	山本正治		(50音順)

前夜祭コンサート 8月21日(木) 7時

福島中学校体育館

名曲コンサート

ニーノ・ロータ●ロメオとジュリエット/ショパン●バラード 第3番 変イ長調 op.47
R.ロジャース●サウンドオブミュージック/アラン・リドー●フェルディナンド

他

フェスティバルコンサートⅠ 8月22日(金) 7時 木曾文化公園文化ホール

フンメル●七重奏曲 二短調 op.74
スメタナ●弦楽四重奏曲 第1番 ホ短調「わが生涯より」
ブリテン●ファンタジー op.2
メンデルスゾーン●ピアノ三重奏曲 第1番 二短調 op.49

フェスティバルコンサートⅡ 8月23日(土) 7時 木曾文化公園文化ホール

ミヨー●世界の創造
モーツァルト:ホプキンス編●木管五重奏「きらきら星による12の変奏曲」K.265
ハチャトリアン●三重奏曲 下短調/シューベルト●八重奏曲 へ長調 op.166 D.803

フェスティバルコンサートⅢ 8月24日(日) 3時 木曾文化公園文化ホール

モーツァルト●木管八重奏曲 変ロ長調 K.361/ヴィラ=ロボス●ブラジル風パッサ 第6番
シュボア●弦楽八重奏曲 第1番 二短調 op.65/シューマン●ピアノ四重奏曲 変ホ長調 op.47

毎回、フェスティバルコンサート開演1時間前から、会場前広場にてアルプホルン演奏などが行われます。
曲目・出演者が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。未就学児の入場はお断り致します。



天下の四大関所 福島関所



天下の奇祭 みこしまくり 7/22、23

入場料

前夜祭コンサート(自由席) 大人 ¥1,000 小・中学生 無料
フェスティバルコンサート(全指定) 大人 ¥4,000 小・中学生 ¥2,000
フェスティバルコンサート通し券 指定 ¥11,000(前夜祭コンサートチケット付き)

*通し券は木曾音楽祭事務局のみ取扱い (限定120席)

主催 = 木曾音楽祭実行委員会・木曾福島町・木曾文化公園

共催 = 信濃毎日新聞社・財団法人信毎文化事業財団

企画制作 = 東京アーティスト

■お問合せ・電話予約 木曾音楽祭事務局 0264(21)1222

東京アーティスト 03(3440)7571

スタジオ・ルンデ 052(203)4188

■プレイガイド

チケットぴあ 0570(02)9990

木曾文化公園 0264(23)8011

■宿泊のお申込み・お問合せ =

アルピコハイランドバス(株) 木曾案内所 0264(21)3301

■観光ツアーのお申込み・お問合せ = おんたけ交通株式会社 0264(22)2568

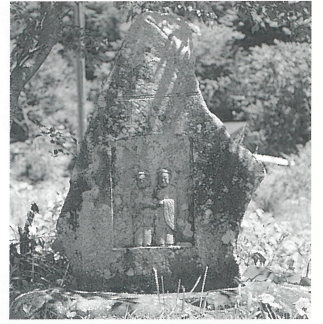
ホームページ <http://www.town.kisofukushima.nagano.jp/music.htm>

music@town.kisofukushima.nagano.jp

道祖神と 馬頭観音の風景

木曾音楽祭実行委員会会長
木曾福島町長

田中勝己



木曾福島の黒川郷は、木曾川本流が岩を食む溪谷の福島と違って、ゆったりと流れる川に沿って、両側に田畑が広がり、昔ながらの農家が点在する、のんびりとした山間（やまあい）の里だ。かつては、黒川の縁をたどり、地蔵峠を超えて、開田村に至る峠の道が街道だったが、いまは、国道361号が本谷を貫いている。

この黒川の里に、十八体もの双体道祖神が、むらの辻々にあることはあまり知られていない。二百戸ばかりの小さな郷に、これだけの道祖神は、おそらくは郡下はもちろん全県でも、あまりないだろう。馬頭観音などの石仏を加えると、六百四十の石像群は、まこと石仏の里というにふさわしい。黒川の里は、十戸ばかりの家々が一つの集落を形成し、点々と川に沿って点在する。道祖神は、この集落の辻々にあるのだが、そこには賽の神や二十三夜様、特におびただしい数の馬頭観音が祭られていた。馬頭観音は、家族の一員として飼った馬の墓であり、供養碑でもあった。そこはまた、むらの子供たちや、若者の遊んだ所でもある。正月の松飾りを焼くのをどどん焼きというが、黒川ではそれを松焼きとよんだ。松焼きも道祖神の前だった。

もともと道祖神や賽の神は、むらの辻に祭ることを通じて、疫病や災難がむらに入ってくるまいかと祭ったものだった。始めは一人立ちの神様だったようだ。やがて男女になり、男女が手を握る神様になって、愛情や子宝の神様へと発展したという。男と女が抱き合う石仏は、男尊女卑の封建時代に、農村では男女が支えあって暮らしていた様子がしのばれ、ほほ笑ましい。

黒川の里で、群を抜いて多い石仏は、馬頭観音だ。二百三十

を超えるといわれている。わけでも黒川は、開田村と並んで木曾馬の産地だった。木曾馬の歴史は古く、千年はさかのぼる。日本には古来からの中型馬の産地が三つあると云われている。北海道、それに宮崎の御崎馬、そして木曾馬だった。背が低く、おとなしい木曾馬は、全国にもっとも広く知られ、親しまれた。広重の東海道五十三次、木曾街道六十九次に画かれている馬も、ほとんど木曾馬だ。江戸時代の記録では、木曾には六千戸の農家があったが、その農家のほとんどで一〜二頭の馬を飼っていたというから、八千を上回る馬がいたろうといわれている。

馬は家族と同じだった。大きな農家の、南向きの一番日当たりの良い所に、馬屋があり、家族と一体だった。

私の家でも、ずっと馬を飼っていた。二頭の馬がいて、春の田起こしや、踏ませ（田の土をこなし、柔らかくする）などで、馬に働いてもらった。田植えが終わると、山の牧場に放牧したが、数ヶ月後山に迎に行くと、馬は家族を覚えていて、寄ってきたりした。その馬が木曾から姿を消したのは、農業の機械化とともに、農耕馬としての役割の終焉だった。

近年どこの農村を歩いても、古い農家はほとんど姿を消し、都市と見分けのつかないハイカラな住宅が増えている。その点黒川の里は、板屋根の家こそなくなったが、いまでも昔ながらの大きな切妻屋根の農家が点在している。

都会の人々が、石仏を辿りながら眺めるこの風景は、ほっとひと息つく瞬間に違いない。

チケット先行予約

6月15日(日) 午前10時～午後6時
木曾音楽祭事務局 Tel.0264(21)1222
(6月16日からは 平日 午前8:30～午後5:30)

木曾文化公園文化ホール (全席指定)

舞 台

7	11	12	あ	13	24	あ	25	30
6	い	い	い	い	い	い	い	31
4	う	う	う	う	う	う	う	33
3	え	え	え	え	え	え	え	34
2	お	お	お	お	お	お	お	35
1	か	か	か	か	か	か	か	36
	き	き	き	き	き	き	き	
	く	く	く	く	く	く	く	
	け	け	け	け	け	け	け	
1	こ	こ	こ	こ	こ	こ	こ	36

1	12	さ	13	24	さ	25	36
	し	し	し	し	し	し	
	す	す	す	す	す	す	
	せ	せ	せ	せ	せ	せ	
	そ	そ	そ	そ	そ	そ	
	た	た	た	た	た	た	
	ち	ち	ち	ち	ち	ち	
	つ	つ	つ	つ	つ	つ	
	て	て	て	て	て	て	36
	と	と	と	と	と	と	
1	12	な	13	24	な	25	32
							33
							34
							32

車椅子席

前夜祭コンサート会場の福島中学校体育館は全自由席です

8月21日(木) 7時 前夜祭コンサート

名曲コンサート

- ニーノ・ロータ●ロメオとジュリエット [若林]
- ショパン●バラード 第3番 変イ長調 op.47 [寺嶋]
- R.ロジャース●サウンド オブ ミュージック [佐久間 古部 山本正 吉田 松崎]
- アラン・リドー●フェルディナンド [小林、語り] 他

8月22日(金) 7時 フェスティヴァルコンサートⅠ

- フンメル●七重奏曲 二短調 op.74 [佐久間 森枝 山本真 菅沼 堀 星 寺嶋]
- スメタナ●弦楽四重奏曲 第1番 ホ短調「わが生涯より」 [漆原 加藤 市坪 山崎]
- ブリテン●ファンタジー op.2 [古部 川田 篠崎 堀]
- メンデルスゾーン●ピアノ三重奏曲 第1番 二短調 op.49 [小林 山本裕 若林]

8月23日(土) 7時 フェスティヴァルコンサートⅡ

- ミヨ●世界の創造 [久保 川田 市坪 山本裕 寺嶋]
- モーツァルト／ホプキンス編●木管五重奏「きらきら星による12の変奏曲」K.265 [佐久間 古部 山本正 吉田 松崎]
- ハチャトリアン●三重奏曲 短調 [磯部 漆原 若林]
- シューベルト●八重奏曲 へ長調 op.166 D.803 [山本正 岡本 松崎 加藤 小林 篠崎 山崎 星]

8月24日(日) 3時 フェスティヴァルコンサートⅢ

- モーツァルト●木管八重奏曲 変ロ長調 K.361 [古部 森枝 山本正 磯部 吉田 岡本 松崎 山本真 星]
- ヴァイラ＝ロボス●ブラジル風パッサ 第6番 [佐久間 吉田]
- シュポア●弦楽八重奏曲 第1番 二短調 op.65 [久保 小林 漆原 川田 篠崎 市坪 山本裕 堀]
- シューマン●ピアノ四重奏曲 変ホ長調 op.47 [加藤 菅沼 山崎 野島]

水と緑と史跡の町

木曾福島

お得な宿泊パック

入場料+1泊朝食付き 10,000円～(税別)

① 木曾路の宿 つたや	④ つたやグランドホテル
② 武居旅館	⑤ 三河家旅館
③ 木曾路の宿 いわや	⑥ ペンションアルパイン

宿泊パックのお問い合わせ・お申し込み
アルピコハイランドバス(株)木曾案内所
Tel. 0264(21)3301

その他の宿泊施設

⑦ 駒の湯	0264(23)2288
⑧ 駒王	0264(23)7201
⑨ 森のホテル	0264(23)7331



●木曾音楽祭へは臨時バスをご利用ください。(大人400円 小人200円)

	木曾福島駅発	木曾文化公園着	木曾文化公園発	木曾福島駅着
8月22日(金) 19:00	18:00	18:30	21:00	21:30
8月23日(土) 19:00	18:00	18:30	21:00	21:30
8月24日(日) 15:00	14:00	14:30	17:00	17:30

*木曾福島駅行きバスの発車時刻は、終演時間によって前後致します。

交通のご案内

今年4月から
いよいよ運行開始!

木曾 ↔ 新宿 直通高速バスで4時間10分

木曾福島行き	新宿駅西口 発	8:20	17:20	新宿行き	木曾福島駅前 発	7:40	15:30
	中央道三鷹	8:40	17:40		中央道八王子	11:08	18:58
	中央道深大寺	8:42	17:42		中央道日野	11:17	19:07
	中央道府中	8:46	17:46		中央道府中	11:24	19:14
	中央道日野	8:53	17:53		中央道深大寺	11:28	19:18
	中央道八王子	9:02	18:02		中央道三鷹	11:30	19:20
	木曾福島駅前 着	12:30	21:30		新宿駅西口 着	11:50	19:40

片道運賃=木曾福島～新宿 4,500円(往復券10%引・回数券4枚12.5%引)
お問い合わせ・ご予約=京王高速バス予約センター Tel.03(5376)2222
おんたけ交通高速バス予約センター Tel.0264(22)4555
インターネット=<http://www.highwaybus.com> iモード=<http://www.highwaybus.com/i>

電車(JR特急)ご利用の場合

- 新宿から木曾福島
中央本線 あずさ、塩尻 しのの、中央本線…約3時間20分
新幹線 名古屋 しのの、中央本線…約3時間40分
- 名古屋から木曾福島
中央本線……………1時間18分

車ご利用の場合

- 新宿から木曾福島
中央自動車道 塩尻IC R19…約4時間
- 名古屋から木曾福島
中央自動車道 中津川IC R19 …約2時間30分

夏の木曾路をめぐる

見どころいっぱいの
オプションツアー

A.御岳ロープウェイと赤沢美林コース

期日 8月23日(土)
最少催行人員 25名
代金 9,500円(昼食付)

B.そば打ち体験と御岳ロープウェイコース

期日 8月23日(土)
最少催行人員 25名
代金 8,000円(昼食付)

C.中山道妻籠宿コース

期日 8月24日(日)
最少催行人員 25名
代金 5,000円(昼食付)

観光オプションツアーの
お問い合わせ・お申し込み

おんたけ交通(株)木曾福島旅行センター
Tel.0264(22)2568

木曾路

木曾は四方を山に囲まれた山岳の地。古く中山道は、江戸・日本橋から京都・三条大橋を結ぶ重要な街道として人々に利用され、今でもその歴史を色濃く残している。木曾路の険路には11の宿場が設けられ、妻籠や馬籠、奈良井などの宿場町を始め、贄川(にえかわ)関所、福島関所などが置かれた。寝覚の床、霊峰御嶽など、景勝の地や、歴史と文化を物語る史跡を見ることができる。そして若者が集うスキー場はもちろん、テニスコート、ゴルフ場、多くの温泉なども点在しており、夏にはさわやかな高原で都会では味わえない満天の星空や自然とのふれあいが楽しめます。



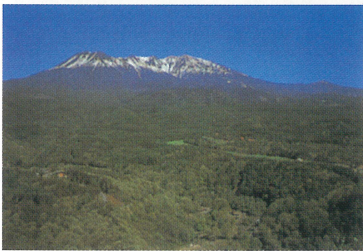
開田高原／開田村
山々に埋もれる木曾谷では珍しく、広大な高原です。忘れな草・木曾馬・そばの産地です。



奈良井宿／榎川村
江戸時代の宿場町で、今も古い家並みが残っています。奈良井独特のしとみ戸、千本格子、出梁り創りが、遠い昔を偲ばせます。



義仲館／日義村
木曾義仲公に関する古文書・絵巻・上洛地図ほか、巴御前などの武者人形も展示されています。



木曾御嶽山
標高3,067m。悠然とそびえ立つ霊峰御嶽。古くから信仰の対象として、また登山客にも人気があります。山麓の高原は、素晴らしい自然体験でいっぱい。



寝覚の床／上松町
奇岩奇石の間をぬってエメラルドグリーンの深淵が、神秘的な輝きをはなっています。遊歩道内には、時をテーマとした美術公園もあります。



藤村記念館／山口村
島崎藤村の生家、馬籠本陣跡にある資料館。復元された冠木門をくぐると回廊式の記念堂・隠居所・蔵の図書館などが並びます。



妻籠宿／南木曾町
中山道木曾11宿のひとつ。重要伝統的建造物群保存地区に選定されたほど、集落保存がよく、往時を想わせる街並みです。

木曾の自然をまるごと体験 ふるさと体験館きそふくしま

(昭和初期にやまあい良質の木材で建築された黒川小学校。小学校は平成9年に廃校となってしまいましたが、木造校舎を利用して様々な自然体験ができる「ふるさと体験館きそふくしま」が昨年4月にオープンしました。夏の緑に包まれた里で木曾の自然を満喫してみませんか。)

- 郷土食体験** そば打ち・五平もち・豆腐・もちつき・木曾の郷土食
- 木工体験** 折りたたみ椅子・小物入れ・まな板・石鹸台・木のおもちゃ・木のペンダント
- 工芸品体験** つる細工・わら細工・織物・木の実のブローチ・草木染め
- 林業体験・農業体験** ■ふるさと体験館きそふくしま Tel.0264(27)1011 <http://www.taikenkan.jp>

■木曾路観光のお問い合わせは
木曾観光連盟
Tel.0264(23)1122
<http://www.kisoji.com/>